



「用法・用量」追加のお知らせ

持続性Ca拮抗剤（高血圧・狭心症治療剤）

アダラート[®]CR錠 10mg / 20mg / 40mg

2013年6月

バイエル薬品株式会社

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、弊社ならびに弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、高血圧・狭心症治療剤として販売中の持続性Ca拮抗剤（高血圧・狭心症治療剤）「アダラート[®]CR錠10mg、20mg、40mg」につきまして、用法・用量の追加承認を取得しましたので、ここにご案内申し上げます。

なお、本変更に伴う各種コード・番号および包装サイズに変更はございません。

今後とも尚一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

謹白

■ 変更内容

「用法・用量」の追加

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">● 高血圧症、腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症 通常、成人にはニフェジピンとして20～40mgを1日1回経口投与する。ただし、1日10～20mgより投与を開始し、必要に応じ漸次増量する。● 狭心症、異型狭心症 通常、成人にはニフェジピンとして40mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じ適宜増減するが、最高用量は1日1回60mgとする。	<ul style="list-style-type: none">● 高血圧症 通常、成人にはニフェジピンとして20～40mgを1日1回経口投与する。ただし、1日10～20mgより投与を開始し、必要に応じ漸次増量する。なお、1日40mgで効果不十分な場合には、1回40mg 1日2回まで増量できる。● 腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症 通常、成人にはニフェジピンとして20～40mgを1日1回経口投与する。ただし、1日10～20mgより投与を開始し、必要に応じ漸次増量する。● 狭心症、異型狭心症 通常、成人にはニフェジピンとして40mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じ適宜増減するが、最高用量は1日1回60mgとする。